胃瘻造設術を受ける方へ

患者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 様

症状説明：　経口摂取が困難なため、胃瘻造設して胃にカテーテルを留置し、十分な栄養を確保する必要があります。
諸検査から内視鏡による胃瘻造設術を行い、注入食を開始します。

退院基準：造設後の トラブルなく、十分な栄養剤注入が可能となる。
胃瘻について理解し管理ができる。

	外来	入院日（　/　）	手術当日（　/　）	術後1日目（　/　）	術後2日目（　/　）	術後3日目（　/　）	術後4日目（　/　）	術後5日目（　/　）	術後　日目
検査 治療 処置	●レントゲン ●心電図 ●内視鏡検査 など 	●血液検査があります ●リストバンドを装着させて いただきます	●処置着に着替えて頂きます ●排尿、排便をお済ませください ●義歯は外しておいてください ●車椅子（ストレッチャー）にて 検査室までご案内させて頂きます （終了・帰室後） ●処置後ストレッチャーにて 病室に戻ります ●心電図モニターを装着します	●採血に伺います ●心電図モニターを外します ●胃瘻部のガーゼ交換を 行います	→	→	→	●採血に伺います	●胃瘻挿入部の抜糸を 行います
薬剤 	●休薬して いただくお薬の 説明をします	●現在服薬中のお薬がありましたら お知らせ下さい ●持参薬は医師の指示のある お薬のみ服薬して下さい ●休薬していただくお薬の説明をします	●点滴があります ●胃薬の注射があります ●抗生剤点滴があります ●朝の内服は医師の指示があれば 6時に服用して下さい ●痛みがある時は痛み止めを使 用します ●熱がある時は解熱剤を使用す ることがあります ●嘔気・嘔吐がみられる時は 吐き気止めを使用します	●点滴があります ●持参されたお薬は医師の 指示があれば再開となります 	●点滴があります 	●点滴が あります	●点滴が あります 		
生活動作 リハビリ		●行動制限はありません ●シャワー浴、洗髪をしてください ※シャワー浴が困難な場合は看護師が 清拭を行います	●帰室後より翌朝までベッド上 安静となります （ベッド上排泄となります） ●本日は入浴出来ません	●主治医診察で問題なければ 行動制限は解除となります ●看護師が身体を 拭かせていただきます	→ 		●シャワー浴ができます		
全身管理		●入院時に検温に伺います	●帰室時・1時間後・3時間後・ 5時間後に検温に伺います ●腹痛、嘔気、嘔吐、創部の痛み など不快な症状があればお知らせ 下さい	●検温に伺います 	→				
食事 栄養管理		●夜9時以降はお食事をしないで下さい ●夜12時以降は水分をとらないで下さい	●終日絶飲食です （内服がある場合は、お伝えします）	●診察の結果で問題なければ 昼、夜に白湯が注入開始と なります。	●昼に白湯を注入します ●栄養剤の注入が 始まります	→			
説明 指導教育		●病棟内の案内があります ●薬剤師が薬の説明をします ●看護師から手術のオリエンテーションを 行います	●時計・眼鏡・義歯・ﾈｲﾙ・ﾏﾆｭｷｱ・ 化粧・指輪・ﾍｱｰﾋﾟﾝ・ｺﾝﾀｸﾄﾚﾝｽﾞ・ ﾈｯｸﾚｽ・ﾋﾟｱｽなどは お取り下さい 						●胃瘻管理について手技 指導を開始していきます